

ピアノ誕生300年

指導者・演奏者のための

ピアノの発達史年表 前編

バッハ・ハイドン・モーツァルト・ベートーヴェンの時代

監修：岳本恭治

●楽器写真提供—財団法人主音楽協会*
浜松市楽器博物館(★)

簡略版

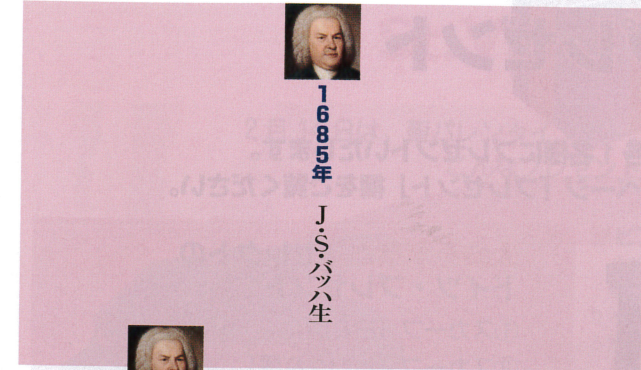
※注：作品によっては、作曲年代において複数の説が存在するものもあります。

チェンバロ&クラヴィコードの時代(約300年)

- 1400年ごろ チェンバロとクラヴィコードの時代が始まる。
- チェンバロIIピアノと同様には強弱を付けることができないため(2段鍵盤の場合は、鍵盤の組み合わせによって階段状に強弱変化が可能 例：J・S・バッハ《イタリア協奏曲》)、ロマン派風のクレッシェンドやデクレッシェンドはできない。
- クラヴィコードII繊細な音で、音量は小さいが、各々の音に強弱を付けることが可能。また、ヴィブラートやポルタートを付けることができる(この楽器で演奏することを想定して書いた曲の例：J・S・バッハ《2声のインヴェンション》と3声のシンフォニア)。
- 現在、ピアノで演奏されるJ・S・バッハの作品のほとんどは、チェンバロやクラヴィコードのために書かれたもの。

古典ピアノの時代(100年以上)

- 1709年 クリストフォリ(イタリア/1655-1731)がピアノの原型、クラヴィチェンバロ・コル・ピアノ・エ・フォルテを発明(ただし実際には1700年ごろまでに完成させていたと言われる)。強弱表現と音の持続を可能にした(普及し始めたのは、半世紀以上も後のこと)。
- クリストフォリが最初に製作したピアノフォルテのレプリカIIチェンバロやモーツァルトの時代のピアノなどをミックスしたような独特な音色を持つ。4オクターブ半、54鍵。
- 1720年 クリストフォリが、現存する最古のピアノを製作(ニューヨークのメトロポリタン美術館所蔵)。
- 1742年ごろ J・S・バッハ《平均律クラヴィーア曲集》第2巻
- 1746年 プロイセンのフリードリヒ大王が、ジルバーマンのピアノを購入。
- 1747年 J・S・バッハがフリードリヒ大王のピアノを試奏。このとき即興演奏した曲をもとに編集された曲集が《音楽の捧げ物 BWV1079》。
- 1772年 イギリスのプロードウッドがピアノ(IIグランド。スクエア・ピアノは前年より)の製作開始。



1685年 J.S.バッハ生



現在、ピアノで演奏されるJ・S・バッハの作品のほとんどは、チェンバロやクラヴィコードのために書かれたもの。



◆ポーニャ・チェンバロ*
(1680年ごろ イタリア)



1732年 ハイドン生



●1742年ごろ J・S・バッハ《平均律クラヴィーア曲集》第2巻



1750年 J.S.バッハ没
1756年 モーツァルト生



●1746年 プロイセンのフリードリヒ大王が、ジルバーマンのピアノを購入。

●1747年 J・S・バッハがフリードリヒ大王のピアノを試奏。このとき即興演奏した曲をもとに編集された曲集が《音楽の捧げ物 BWV1079》。



1770年 ベートーヴェン生



●1777年 モーツァルトがドイツのシュタインの工房を訪ね、そのピアノ(61鍵)を絶賛。

●シュタインIIハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンが愛用(所有はしていない)。打鍵時の反応が速い。鍵盤の重さは現代のピアノの半分ぐらい。音量は大きくないが、音の響きにむらがなく、全音域において澄んだ音色。軽快なタッチで、トリルが容易にできる。ダンパー操作のための膝ペダルが付いている。

●1777年 パリでエラールがピアノ製作開始。

●1778年 モーツァルト《ピアノ・ソナタイ短調 K310》

●1781年 ヴァルターがウィーンに工房を開く。

●1782年ごろ モーツァルトがヴァルターのピアノを入手。



◆ジルバーマン
属啓成著『ピアノの歴史』
(音楽之友社)より



◆クリストフォリ(レプリカ)★

特集1

メンデルスゾーン・シューマン・
ショパンで学ぶ

ピアノで「歌う」 とは?

- ショパンのワルツを弾く 米元えり 50
- シューマンを心を込めて歌い上げる 竹原暁子 53
- すてきに紡ぐ《無言歌》 宮坂純子 56
- 「歌う」ということ ピアノで歌うロマン派音楽 廻 由美子 59

特集2

納得・即実践!

「左手」で お悩みの皆さんへ

利き手が右という悲劇? から逃れるには

- 姿勢の良し悪しと
曲の内容・構成の理解がポイント... 黒須やすこ... 63
- 左手の役割を知って鍛えよう 杉浦日出夫 70

○カラー

○今月のアーティスト etc.

ピアノ曲 ビジュアル館 ◇佐野真澄 1
音楽家が育った家庭
菊池洋子 ◇岡地まゆみ 2
St. Valentine's Day 4
読者プレゼント 5
ピアノ発達史年表 前編 ◇岳本恭治 6

ステージ ゲルハルト・オピッツ ◇道下京子 12
ピアニスト探訪 江戸京子 ◇伊熊よし子 14
頼近美津子の音楽教育etc.トーク
佐藤 仁 ◇岡地まゆみ 18
今月のプレトーク
青柳いづみこ / 東 貴良 ◇堀江昭朗 巻末30
MUSICA the SPOTLIGHT
海川千史 / 深尾由美子 /
川原慎太郎 / 中野翔太 巻末32

○トピックス

- ファジル・サイ《オオカミくんはピアニスト》◇渡辺謙太郎 24
サントリーホールオルガンレクチャー
コンサートシリーズ2008◇荒木淑子 25
わはは先生の「ざ・まちがいなおし」◇植田恵理子 31
メンデルスゾーン、ショパン、
シューマンが生きた時代◇益山典子 37
ドイツの音楽大学&音楽教室
韓 伽伽 インタビュー◇渡辺謙太郎 84
現役! 留学生レポート◇大崎亜季奈 87
社会に飛び出す音大生たち◇工藤啓子 巻末20

○批評

- 演奏会批評 ◇雨宮さくら / 家永 勝 / 吉崎邦雄 / 石川哲郎 /
小倉多美子 / 河原 亨 / 柴田龍一 / 時 幹雄 / 友部宗樹 /
中原昭哉 / 早川立大 / 原 明美 / 伴 玲児 / 道下京子 /
野多美 / 吉田裕子 90

○連載エッセイ&レポート

- ピアノの先生の社会科見学 ◇荒井幸太 27
今月の表紙の絵◇吉田しんこ /
全国音楽教室めぐり◇荒木淑子 巻末48

○連載講座

- セロリのみじん斬り ◇春畑セロリ、向井大策 22
指導に役立つ子ども音楽辞典 ◇北村智恵 74
これならできる! デジタル超入門 76
ピアノの先生になって良かった! ◇田村智子、岩瀬洋子 78
【短期連載】漆原啓子&練木繁夫 デュオ講座 ◇高瀬研二 80
レッスンしましょ! PART2 ①◇楠原祥子 巻末1
レッスンしましょ! PART2 ②◇デュエット 巻末19
ムニエ先生の幸せなレッスン ◇遠藤真澄 巻末16
萩原謠子先生の教室だより 巻末47

○情報

- 楽譜調査室 クラシック班 ◇丸子あかね、川崎みゆき 巻末23
ポピュラー班 ◇さどはら知子、丹内真弓 巻末26
ムジカ図書室(BOOK) ◇山本美芽、小倉多美子 巻末28
生徒と見たい聴きたい音楽ソフト ◇百瀬 喬 巻末29
演奏会 / セミナー / ピアノコンクール & オーディション 巻末34
News & Events 巻末41

ムジカーノヴァ
2009年2月号
第40巻第2号
(通巻456号)

表紙の絵:
吉田しんこ

写真:
岡本 央、満田 聡、
武藤 章

表紙&カラーデザイン:
本永恵子、古屋順子
グラフィック、本文デザイン:
杉井孝則、Flags、
岡川拓郎、おたまじゃくし、
G-clef、竹内紀子

楽譜浄書:
スタイルノート

編集スタッフ:
岡地まゆみ、荒井幸太、
岡部美喜

特集1編集: 古川 亨
特集2編集: 高瀬研二
情報館編集: 木百合



● 1782年 モーツァルト《キラキラ星変奏曲》
● 1783年 モーツァルト《トルコ行進曲》
● 1783年 モーツァルト《ピアノ・ソナタ第15番》
● 1794年〜95年 ハイドンがイギリス式のピアノのためのソナタを初めて作曲 (Hob.XVI / 52、50、51)。
● 1795年〜1803年 モーツァルトのピアノ (61鍵) を使用。当時の作品には、最高音より上の音を故意に避けた形跡が見受けられる (作品10-1 第1楽章 展開部等)。
● ヴァルターII モーツァルト、ベートーヴェンが所有。渋みのある重厚な音で、カンタービレな奏法に適している。
● 1801年 ベートーヴェン《月光ソナタ》
● 1803年 エラールがベートーヴェンにピアノを贈呈。
● エラールII ベートーヴェン、ショパンが所有。和音が豊かに響き、低音の音量が大きい。音域が5オクターブ半に広がる。
● 1804年 ベートーヴェン《ワルトシュタイン・ソナタ》
(冒頭の和音の連打は、エラールの性能を最大限に発揮している。また、最高音のc4も使用)
● 1807年 パリでブレイエルがピアノ製作開始 (ショパンが所有し愛用した)。
● 1810年 ベートーヴェン《エリーゼのために》
● 1817年 イギリスのブロードウッドが、ベートーヴェンに誕生日プレゼントとしてピアノを贈る。この楽器から、《ハンマークラヴィア》の第4楽章、および第30〜32番の最後の3つのソナタが生まれる。
● ブロードウッドII ベートーヴェンが所有。低音部の音域が広がる。右側のペダルタンパー(ペダル)が2つに分割されていて、通常のダンパーの機能に加え、低音部のみ、または高音部のみ、ダンパーを上げることができる。
● 1820年代、ピアノのレッスンは盛んになる。



ブロードウッドのペダル
写真提供:
フォルテピアノ・
ヤマモトコレクション



◆ブロードウッド
(1807年) イギリス
★ベートーヴェンが所有していたものと
同型のピアノ



◆ヴァルターII (1795年) ウィーン
*黒鍵と白鍵の色が逆になっていて、
膝で押し上げるペダルが付いている。